
ふじばんが独断と偏見て語る携帯小説の書き方

ふじばん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ふじぱんが独断と偏見で語る携帯小説の書き方

【Zコード】

Z4599D

【作者名】

ふじぱん

【あらすじ】

知り合いが自分もネット小説書くとか言っていたので、参考程度に私の持つ浅はかな要点を紹介。きっと独断と偏見過ぎるからフルボツコ確定かな（笑）。世の中、こんな意見もあるんだよ……と参考までに留めておいて頂ければ幸いです。

ただの挨拶臭い内容つまご

ネット小説の良いところってなんだと思います？

私は表現の自由性が幅広い所だと思います。

ファンファイクションにおいては虫食いが多めですが……。
…。

某国のネズミを彷彿とさせる企業とか、その急先鋒ですね。

あんたらだつて著作権の曖昧な童話を使って金儲けしているじやん
とか断言じりやうと消されかねないので曖昧に濁しますが……。

それにぶつちやげ、私は特質するほど面白いとも思いませんし……。

後、やれなんだかんだと小煩い規定のある家庭用ゲーム機とは違い、
恐ろしくやばい表現も自由です。

ちなみに何気に絶対ヤバイ家庭用ゲーム機の表記。

看護婦……。（男女差別になるからダメ）

盗んだバイクで走り出す。（犯罪助長行為に該当）

フルボッコ確定です。

いいじゃん、そんくらいとも思えますが青少年に悪い影響を与える
とかいう理由で禁止されております。

その波紋はアニメとかにまで及んでおり、我々創作大好き人間にとつて見事に世知辛い世の中です。

後、読む為に通信料以外お金がかからないこと……。

元々私は創作で飯を食べるつもりもございません。

趣味を仕事にしたら、人間哀しいかな……、趣味が減るんです。

苦痛な趣味程、マゾじやないんですから喜べませんよね。

私自信、趣味を仕事にしてしまい、プライベートでは全くしなくなる始末……。

だから、最後の趣味である創作だけは趣味で留めておきたいというのが、現状ですね。

そもそも食べていけるだけの技量を持ち合わせぢやおりませんが……。

この小説家になろうのサイトを使っているのは、メール送信機能や評価機能が他のサイト様に比べると優秀だし、なによりアクセス解析が着いている事ですしね。

何より汚い話……、

金が絡んでないだけ素直に読む事ができるところがどうか……。

タダほど素敵なものはありませんね。

しかも、金を払ってまで買った本がハズレだったとか救われません。

私は評価サイトで普通にグッダグダ文句書きまくります。

金返せ！

と……。

そんな私が携帯小説を書き始めて、このサイトで評価機能を使い出して早、たったの数ヶ月。

持てる力を持つて、知った被りの知識を「」披露させていただきます。

実はただの前書きでした。ちゃんちゃん

ただの挨拶臭い内容っぽい（後書き）

ジャンル……これエッセイでいいのかな？

ふじさんの戯言1 改行と漢字

はい……。

何気に拝見させて頂きますと、

皆さん……。

何気に改行を軽視している様に見受けられます。

携帯小説の読者層って、結構若手の方々なんですよね。

まあ、言つより実際見た方が早いですね。

例を上げましょ。う。

同部屋の住人である愚弟は暗闇の中携帯を弄っていた。煙草に火を付け訝しげな面持ちでディスプレイを見る。恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。則ち何か不快な事があつたようだ。終始ムスッとしたように見受けられる。時折「くそつ」と呟いてはカタカタカタカタと携帯を操作している。

軽く書いて見ました。

読みにくくないですか？

私だと、うーんつ……、と首を捻ります。

あんまりにも文章が固まり過ぎて何書いているのか、私は一読では半分くらいしか理解できません。

改行を入れて見ましょ。う。

同部屋の住人である愚弟は暗闇の中携帯を弄っていた。
煙草に火を付け訝しげな面持ちでディスプレイを見る。
恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。
則ち何か不快な事があつたようだ。

終始ムスッとしたように見受けられる。
時折「くそっ」と呟いてはカタカタカタカタと携帯を操作している。

わざわざよつままだ幾分かマシ臭いですね。

でもまだなんか読みにくい……。

気付かれましたか？

はい。

読点（、）があつません。

つこで元々つなら二点コンマ（…）があつてもよろしくです。

んでは、適度に読点や二点コンマを付してみましょ。

同部屋の住人である愚弟は暗闇の中、携帯を弄つていた……。
煙草に火を付け、訝しげな面持ちでディスプレイを見る。
恐らく携帯で出来るネットゲームでもしているんだろう。
則ち、何か不快な事があつたようだ。

終始ムスッとしたように見受けられる。
時折、「くそっ」と呴いては、カタカタカタカタ……、と携帯を操作している。

最初に比べたら読みやすく状況把握もしやすいのではと思います。

それにびっしりと埋まる文字数を見ると田に悪いです。

眼球が一点を集中して見ているため、当然ながら田が疲れます。

目の疲れにはブルーベリーがいいらしいですが、常に摂取できる代物とは言い難いです。

何気にカロリー高いし……。

ふふふ……。

まあ、言いたい事は……

改行は読む人の為になりますと言いたいんです。

なにより、プリンターとかで印刷しない限り、パソコンの「ディスプレイや携帯のディスプレイで書かれているわですかから更に田によろしくないわけで……。

さて、改行の重要性を偉そうに語つたついでにもう一つ。

漢検準2級以上の漢字はなるべく使わない……、と言つた所でしょうか。

参考までに漢字検定準2級は高校生が修学する程度の難易度……だつたと思います。

まあ、簡単に言つますと……。

其れ……それ

此処（もしくは此）……………

とか

ひらがなでいいじゃんとか思える表記ですね。

演出ならともかくですが、常時はちよつと……。

私ことふじぽんも人の事言えませんが……。

読めない字があつたら読者の興味は急速に引きます。

筆者が最も恐れる行為、戻るの操作をされる要因になります。

せつかく書いた以上、人に読んでもらいたいのは私だけですか？

そんなことはないですよ。

……と、言いたい事を言ったので今日はこの辺りで。

ふじさんのお話2 誤字の脅威

誤字……。

はい、私は正直に、語る資格はありません。

何故なら私は誤字が得意だからです（おこ）。

私が主に誤字をやつてしまふパターンの紹介を反省を込めて語ります。

携帯投稿の落とし穴……。

パソコンにはなく、携帯にはある「予測変換機能」……。

便利ですよねえ……。

だけどちゅうと待つて下さいね。

何気に便利と言つ葉に騙されがちですが……、所詮機械。

おバカちゃんです。

予測変換にての失敗例……。

1、変換しない！！

どうでもここのよつな簡単な漢字が予測変換でひつかからない時があります。

主に4文字熟語とかいい例ですね。

慌てず騒がず落ち着いて変換すればなんて事はない変換。

投稿後……、

「げ……」

とか言わないで言いまうになりたいものです。

2、前後の変換を気付かずに入力

みやせりつます。

常習犯です。

返す言葉もいざれません。

例えば、

「あいがん……」

と感嘆している単語を打とうとしたしまじょうか。

平仮名表記で十分な所をつい癖で、変換していたりします。

因みに私の携帯の「あらま」の予測変換例。

荒巻

荒牧

新巻

あらまし

つこつこよく見すに4番目の「あらまし」で変換してしまいます。

注意しまじょうね、ふじぱんさん……。

3、△勘違い

これは予測変換に限らずパソコン投稿組の方にも当たりますね。

人間、勘違いするのは当たり前です。

某文学部関連教授先生様が執筆なされた偉そうな本にもちやっかり誤植はあります。

第三者が更正しなければ結局は、誤字があるものです。
ここでは例を上げたらキリがないので置いておきます。

4、焦りによる誤変換

これもパソコン、携帯ともによくあります。

同じ読みで違う意味の字なんて腐る程あります。

こればかりは、誰が悪いと言ひ訛では「やれこません。

あえて上げるなら日本語を構築したご先祖さまにお怨み申し上げます。
焦り。

ところ責任転嫁は置いといて……。

何故焦りが発生するかですかね。

携帯では言つてしまえば文字入力の遅さにあります。

当然、パソコンも同様ですかね。

頭に浮かび上がった文章を表に出そつとしているのですから、当然
タイムラグが発生しちゃいます。

頭では瞬時に言葉がでてきても、文章化、適切な変換などを行っていれば嫌でもタイムラグが発生するわけですね。

私の例を上げるなら先日投稿した「選択紙」は構想3分。書き上がり4時間……。

こんだけタイムラグの間隔が起これば、焦らないわけないですね。

当然、これでご飯を食べている訳でもないですから書ける時間というものが存在するわけで……。

人によつては仕事、学校、家事など人生の大半を執筆に当てられる人はよほどプロくらいです。

まあ、でも漫画なんかよりはマシなんですがね。

漫画を書いているのか知り合いが言つていたのでそのまま無許可、事後承諾で乗せますと……。

「小説はまだいいよ……。漫画なんて下手したら一コマに何時間かかるやつ……。いつまでたつても書きたいシーンまで到達しないし

だそうです。

誤字の言い訳のはずが何やらどうでもこよいうな方向に脱線してお

ります。

とりあえず話を元に戻します。

焦るな……は、無理な相談臭いので、確認を怠らず……、つてことですかね。

かといつてもめんどくさもあります。

私自身、面倒です。

早く投稿したい誘惑むじやうございます。

まあ、早い話……、そこを意識付けしない限り誤字癖は治らない。

わかりましたね。ふじさん??

5、消去ミス

意図せず文字を削ってしまった際に発生します。
自分は消していいつもりなんですね。

前後の文の消去の際にやらかします。

書いてる本人は何気に気付か増いと言ひ訳を羅列しておきます。

なんで、そんな箇所を発見した場合は、慌てず騒がず優しく指摘し

て上げるのも優しさ……かな?

と思います、程度にしておきましょう。

以上、要因と対処方をわかつてん癖に誤字が治らないふじばんの戯れ事でした。

さて、一応私自身は小説家になろうのサイトでそこそこ色々な方の評価をしております。

極力誤字は突っ込まないよう心掛けているのですが、ある場合に置いてのみツッコミを入れてます。

それは純粋に最高の良作に対しています。

この誤字さえなければ……、って時にツッコミ入れます。

勿体ない作品つて多いんですね、何気に入。

当人も誤字の存在に気付いているのも周知ですが言わずにおれない誤字。

自分が直せないので人に直せと言っているのは、やはり変ですね。

私も頑張って誤字出さないようにしますか。

ふじさんのおすすめの戯れ事3 RとX指定（性）（前書き）

自己責任で閲覧お願いします。

ちなみに18歳以下の閲覧はダメ元でダメといっておきます。

ふじさんの戯れ事③ RとX指定（性）

さて、今回の議題は、R指定とX指定の分別です。

まあ、正直言いますと……金銭が発生しないので正直ネット小説では細かく言つつもりもないです。

性描写でお金取つてうつはづは……というわけでもないのですが……。

厄介な集団がいます。

金銭関係なく、とりあえず自分だつて好きな癖に、もしくは子供を盾に自分が嫌いなジャンルを廃除したいため……。

「子供には早い！」と否定的な「いいい」なる、著作の敵対組織ともいいくべき組織があります。

厄介な事に全国ネットな上、権力は異常に強く……、犠牲となつた著作は後をたちません。

例えばパチスロで有名なあのアニメ……。

有名ですね……。

それから身を守る為に、ネット小説でもR指定、X指定の表記は必要です。

付けて、閲覧されたら読んだ人の責任。

著者は、きちんと指定つけてますから……。

フィルタをつけたプロバイダを通さなかつたあなたがた親の責任です……。

と理論武装できます。

と、いかが他に対抗手段があつません。
しょせん、理論……。

感情論には勝てません。

ならば、第三勢力に自らの言い分を聞いてもらいましょう。
司法も頭でつかちな集団ではありません。

理論で固めれば、勝機もござります。
倫理協会も、自らの指定している事を守つてるので、世論が傾いて困った犯罪者さんがでていないう期ならば、敵対はしないはず……とは断言は控えておきます。

脱線しちゃうの前置きはひとまずおこといて……。

ノーマルとRとXの境目にについて明記します。

まずはR - 15……。

15歳未満はお断りに関して、要は中学生未満は見るではない。でも高校生は見る事を許そつと言つているのですが……。
どこまでがいいのか……。
意外と知られざる範囲の狭い……。

性行為を見せ場とせず、性行為の過程（脱衣、前戯、性交、後戯）を連續として描写せずに、簡潔にする。
又、ドラマ及びドキュメントにおいて、フィクションといえども暴力犯罪、残虐性等の表現は簡潔に努め、過度に刺激のないもととする。

誤解がないよう言つておきます。

要は、H行為はグロかつたり、リアルには書くなではなく、そのものの表記がダメというわけです。

彼女のやわらかなおぱいを揉む。

男性自身を見せ付けた。

挿入した。

どれがRで許されてる範囲だと思いますか？

はい、全部ダメ臭いです。

ま、小説だから抜け道は腐るほどあるんですけどね。

ですが、抜ける技術がない以上、ギリギリいけるだろうとかは、やめたほうが無難です。

ちょっと待つて。

そういう描写を普通にR程度で出していくプロいるじやん！

といつ意見。『もつとも……。

ここから、さらに汚い話になりますが、プロは法人です。

いざとなつたら、弁護士が動きます。

弁護士がつけば、傷は浅く済みます。

んじゃ、私も弁護士動かせば……。
いえいえ……。

弁護士動かすのいくらかかると思つてますか？
少なくとも百万は覚悟して下さい。

前の話で載せたとおり、ネット小説はビジネスではないです。
うまいことすればお金は入りますが、現状では入らないのが大多数
です。

んじゃ、書けないじゃないか！

いえいえ……、結論を急がないで下さい。
濡れ場がない恋愛つていうのも寂しいものです。
まず、要点を言えば……、
局部名称、それに類似する名称を書かない。

本番はしない。

……と言つか触れない。（なんの？　とか言わないで下さいね）

ですね。

まあ、小説だから許される範囲としては胸（別におぱいのみじゃ
ないし）、フトモモ、うなじ、下半身（股だけではないですから
ね。この単語は）とかまあ、後は上手な表現方法をとつていらっし
やる作者様を参考にしてください。

入浴シーンとかは局部名称書かなあや、R以下でいいですしお。

……つさ。

ちなみに言つておきます。

「」まで書いた許されるであらわし表記は、現段階は……です。

年々厳しくなる事はあっても、緩くなる」とはありません。
気をつけて下さいね。

因みに、今回載せた事に関しては自己責任で閲覧、実践して下さい。

性行為を見せ場とせず、性行為の過程（脱衣、前戯、性交、後戯）
を連続として描写せずに、簡潔にする。
又、ドラマ及びドキュメントにおいて、フィクションといえども暴力
犯罪、残虐性等の表現は簡潔に努め、過度に刺激のないもととする。

この文を各自で判断していただければ結局のところ、いいかと……。

余談ですが、家庭用ゲーム機はパンチラ、ちらつと局部とか完全
Gが普通です。

女の子ゲームを発売する際、ここで大概引っ掛かります。

なので、小説はまだまだ緩い。
さらにネット小説はもっと緩い。
ですが、緩いからといってやりすぎないようになります。（笑）

性以外が次回に……。

ふじばんの戯れ事③ RとX指定（性）（後書き）

まあ、私の職業柄……、少しごくつ知識はありますので、皆様の参考程度にとなれば幸いです。
絶対というわけではないです。

ちなみに強姦行為……例えこれは寸前でもきついです。
まあ、読んで頂いた方々の自己判断で。
いつてしまえば私こと、ふじばんの戯れ事ですから……。

ふじばんの戯れ事4 『んな主人公は嫌です

とりあえず、物語を構築するためには登場するキャラクターが必要不可欠です。

エツセイや、FFでもないかぎり登場キャラクターは物語を作る上で重要なキー・パーソンをしめています。

その中でも最たる重要なキャラクターは、主役ですね。読める小説は主役が生きています。動いています。

私は正直、評価の虫です。

正直言いますと書くより読むのが好きです。
あ……。

そ、それが更新をサボっている理由じゃないですよ。

閑話休題……（無理矢理）

さて、今回はこんな主人公はヤダなどこのをあげてみます。

まあ、とりあえず1番嫌なのはジャンルにもよりますが大別力
テ「ゴリ」でいうなら

「恋愛」

「ファンタジー」

「SF」とかで、何においてもパーフェクトな人。

勉強せずに全国20.1の成績。努力を全くせずに無敵な運動能力。とりあえず説明なく男女共にモテる。性格は聖人。

こんなものを全部まとめたキャラクターは感情移入できません。

まあ、

「コメディー」ならいいと思いますがね。

いんやキャラがギャグキャラならば笑って見れます。

「推理」も、まあ……いいと思います。基本、頭良くなきや推理するのは難しいですからね。

でも、金田少年は、赤点の常習犯。

工藤一は、音楽センス零。

そもそも聖人君子ではありますし、上記に上げたパートマンではないです。

結論……。欠点は読者に共感を得やすい……ということがありますかね。

話事態が盛り上がりません。

なにより、機械的です。

私はイヤですよ、こんな主人公。

私は書けません。

だつて話進まないから……。

ついでにいうなら書いてもつまんないから……。

お次にこいつは贊否両論ですが……。

こと、

「ファンタジー」や

「アクション」ではこんなのは嫌です。

一世を風靡した、今でも根強くファンがいる某アニメの主人公タップですね。

周囲から立ち上がらなければ後悔するとか、色々背中を押して

もうつっているにも関わらず、まつまつまつまつたく動かすB A D E n dを迎えるとかいうのです。

あれは当時、斬新でしたが、ぶっちゃげ一回でいいです。

第一私は一度見たいとは思わないですね。

いらっしゃいますから、主人公の行動力の無さに。

読み手は主人公に感情移入したいものだと思っています。私はですが……

そんなキャラクターを感情移入しちゃつたら、どうなります？
ただ読み手はイライラして不完全燃焼するだけです。

B A D E n dはやはりH a p p y E n dに比べると人気がないのは上記のせいもあるでしょう…………たぶん

私はB A D E n dも有りと思う人です。

ただし、何も行動せずに迎えた世界破滅系のB A D E n dはイヤです。

あがいた末、無理だつたならともかく…………。

でも、例外はあります。

「ここでいう大別ジャンル、

「恋愛」と

「ホラー」です。

「コメディー」はそもそも笑いを取るのが目的としておりますので、敢えて無視の方角で……。

「恋愛」に関しては、まあ……それも味かなつと、主觀を変えれば面白いかもしないですね。

例えば、行動出来ずマゴマゴしているうちに恋敵に相手を取られた。

後悔の念を書けます。さらに心機一転、略奪愛に発展させる事もできますし、諦めるまでの糾余曲折も描けます。

こんな展開が嫌な人もいるんでしょうが……。

「ホラー」に関しては、怖ければ良作です。正直BAD Endで構わないと思ってます。

主人公が、悪靈に立ち向かうとかなつてしまつとそれは

「ホラー」というより

「ファンタジー」だと思つのは私だけですかね（笑）

おや……。気付いたら嫌なのしか上げていない。

ちょっとまとめましょう。

まあ、簡単にいうなら主人公に何らかの欠點をつけようということですね。

1番小説の媒体とした主人公で後々に発展しやすいのは心の脆さですかね。

小説は漫画と違つて心理描写がとにかく書きやすいです。

その代わり微妙な顔の表情は難しいわけです。

わざわざ難しい茨道に行くより、やりやすいのではないでしょ
うか……。

とりあえず、長くなつたのでこの辺で……。

今回はやつちやいけない主人公しか書けなかつたのは携帯の電池の問題です。

機会あつたらキャラクター創作でも。

ふじばんの戯れ事5 句読点

自分で発した次回予告は華麗にスルーする……。
ゲスな物書き、ふじばんでござります。

いや、いざれきちんとしますから。

ただ先にしておきたい内容だつたので……。

「ホン……。

今回は句読点の付し方について、書かせていただきます。
何気に句点と読点を逆に思つてしまつてゐる人がいるはずなのでそこからはつきりわせますね。

「。

「うちが句点です。

「、

「うちが読点です。

ちなみに恥を忍んで言つならば私は逆だと思つっていました。
結局、今の勤務先で恥をかきました。

ま、私の世間話なんかどうでもいいですね。
ちなみに言いたい事はこれではありません。
ただの前置きです。

さて、本題へ……。

さすがに句点に関しては、別に問題ありません。
問題としたいのは読点です。

皆さんの作品を読んで、時々考ることがあります。

私は国語の先生でも、日本語の権威といわれている先生様等とはほど遠い一般ピープルなので、正しい読点の付し方とか言えません。

ですが、読みにくいとは言えます。

例文

先日社長の息子とかいう若造がうちの支社に視察と称して来たのはいいがよりもよって私の机の前で立ち止まり私の机の上に置いてあつた雑誌をとりしかめつづらをした後ネチネチと仕事する気はあるのかとか喚いていたが私は聞いているふりをして今日の夜友人に誘われている合コンに意識を向けていた。

そもそも、読点どころの問題でもない文章なのはさておいといって、とりあえずダメ臭いですね。

んでは、読点を付しまくります。

先日、社長の、息子とかいう若造が、うちの支社に、視察と、称して、来たのは、いいが、よりもよって、私の、机の、前で、立ち止まり、私の、机の、上に、置いて、あつた、雑誌を、とり、しかめつづらを、した後、ネチネチと、仕事する気は、あるのか、とか、喚いていたが、私は、聞いているふりをして、今日の、夜、友人に、誘われている、合コンに、意識を、向けていた。

（）ままですると、ある意味爽快ですね。

当然ながら、両方とも読者に文章を読ませようとする気が片鱗

も感じられません。

わすがに「」まで酷い人は滅多にいませんが、とりあえず例文と「」とでお察し下さいませ。

言いたい事を全部に伝わればいいのですから……。

まあ、何がダメとか見れば分かりますが、前者は読点があります。後者は付しきりもないところです。

正直……、後者は滅多にいませんが念のため。

漠然としそぎて何が言いたいか分からない人は、とりあえず口に出して朗読してみれば、私の言いたいことが分かるのではないかでしょうか……。

読点が無いほうは、息継ぎのタイミングがわかりません。
読点があるほうは、長いのでイライラします。

両方に共通して言えるのは、内容を理解する前に挫折します。
私なら、読み飛ばしますね。

それが評価依頼を承った作品でも……。

別に会話文じゃないし、息継ぎとか、問題ないじゃん？

と、思われるかもしだせませんが……、待つてくださいね。

読み飛ばされて、いいんですか？

せっかく練って練って練って練つて……作り上げた世界感の説明を……。もしくは、心情の微妙な揺らぎを記した場面を

……。

重大なシーンを読み飛ばされるのは、読者にとってマイナスです。

話が繋がないですからね。

読み飛ばした読者が悪いとか言つなりば、何も言つ事はありません。

その読者が来なくなるだけですから……。

評価の が、一個になるだけですから……。

感想欄に、なんかいきなり話が飛んだんだけど？

と、書かれて該当箇所に説明は入れてあるはずなんだけど……、とか有り得ます。

それはただ単に、読み飛ばされてしまつている可能性が大です。

まあ、自己弁護いたしますと……、滅多な事では私は読み飛ばしませんが、零ではありません。

誘惑と戦う時があるのは、白状します。

更正依頼なら、別の意味で燃えますのでそんなことはしません。ですが、感想のみは、まれにやります。

(ああ……、評価依頼来なくなるかも知れない……)

まあ、私の事はどうでもいいです。

読み飛ばしが問題なのです。

だから、何故読み飛ばしされるのか、検証してみましょ'う。

まず、私ならやはり長い一文の癖に読点のかけらも無いことこのですね。

読むのが面倒になります。

次に前の章でも上げましたが、改行ですね。

私の場合は、携帯で閲覧しているため余計に読点と改行の有無によって読みやすい、読みにくいがはつきりつかり分かれます。

ちなみに私の作品は携帯でもパソコンでも読みにくいで指摘を受けた事があります。

結論……。

果たして私がそんなこと言ひ資格があるのか……とか、思つたりもしますが、とりあえずこれは教科書ではなく、ふじばんのエッセイです。

主張です。

独断と偏見です。

気にせず進行します。

例え会話文でなくとも、息継ぎが自然に出来るタイミングで読点をお願いします。

ちなみに、参考にならないでしょ？が、私の句読点の付し方です。

読点は、半呼吸。

句点は、一呼吸。

それ以上は、三點コンマ一つ（……）プラス句読点……、てな感じです。

どこかで聞いた情報なのか、私が勝手に思い込んでいるのか定

かではないですが……。

大きく道を外れている法則ではないと思われます。

余分……。

そもそも学生時代、国語系の成績は褒められたもんじゃないで
すしね。

さて、今回まじの辺りで……。

ふじさんの戯れ事⑥ ファンフィクションから学ぶ物

さて、こんなに読んで頂ける読者がいらっしゃるとは思ってもよらず、迂闊な事を書けないな……と思いながら、またまた危険な発言をしまくると思いますが、ご容赦くださいませ。

さて、今回のお題はファンフィクションについてです。

何気につた事なのですが、やっぱり読みやすいんですよね。何故なら、すでに世界感とキャラクターが完成しており、筆者がその世界が好きだから……。
まさこ、これですね。

さて、ファンフィクションとネット小説は切つても切れない関係にあると思います。

GOOGLEでもYAHOO!でもいいので、作品名（スペース）小説で検索かけるとゴロゴロそんなページができます。

この

「小説家になろう」の作品も個別でヒックします。

あ……、いい時代だ。お金出してまで駄作を買つより、ネットで好みの小説を探したほうがかさ張らないし、良作に会った感動はなかなかないですね。

ま、私の見解は置いといて、ついでに二つのまにか脱線してしまった話を強引に元に戻して……。

ファンフィクションを書く上での注意事項をシリシワヒ……。

まず、著作権です。

当然ながら、金の亡者と呼んでもこいほど浅ましい業者の存在があります。

フリーな作品はフリーです。 けど、使つと怖い思いをする著作があります。

そもそも著作権とか、歌つてこるところがありますが、著作権とはそもそもなんなのか……。

曖昧な知識で嘘を書くわけにはいかないのでとりあえず調べました。

著作権とは、著作物を併他の・独占的に利用して利益を受ける権利の事を指し、知的財産権の一種である。

他の多くの権利と同様、国ごとに権利の具体的な様態が異なっているが著作権法によって保護の範囲や対象などを規定する場合が多い。

バーカー

「ピペすれば数秒。

けど、悲しいかな……。 当方携帯なため、一文字ずつ打つ羽田に……。

まあ、それは置いといて（話しあまないから）……。

よつば、ファンフィクションで金を取るなど、言つてこるわけですね。

ん?

と、すると……。

「ミケとかで売ってる同人誌ってほとんどダメ臭いような気がするのでは……。

金取つてるくさいですもんね……。

行つたことないからよく解りませんが……。

まあ、私はあえてこの地雷は踏みません。

まあ、ネット小説での場合がこの場のモックトーン。
そっちのほうはそっちのほうで対処するでしょう。

まあ、金を受け取らなければ許容といつ事になるのですかね。
極甘…！

ただ、何のファンファイクションかを記載する必要はありますね。
作品のキャラを出しきなながら、これは私のキャラだとか言わ
なければ、騒乱は起きないでしょう（当たり前だわな）。

ついでに著作権法も調べました。
また手打ちか……。

著作権法とは、著作権の範囲と内容を定める法律。知的財産の
保護、盗作への罰則に関する取り決めを定めた法律である。

範囲について調べ忘れている……。

あ……。

しょ、少々お待ちを……。

結論！

「めんなさい。 わかりませんでした。

奥まで潜れば出て来るとは思いますが……。
ただいまでに空は明るく、本日仕事なのです。
でもまあ、おもろい知つて損はない記述を見つけたのでこれで
ご勘弁を……。

海賊版について……。

著作権を無視して製造される違法・非合法な製品。 すなわち、
著作権者の許諾を得ずに無断で制作・製造され不當に販売されるこ
とから、製作者（個人・法人・組織・集団などの形態は問わない）
や販売者（「販売店」や
「取扱店」など）に全利益が分配されてしまつ。
当然、著作権使用料が著作権者に支払われない。

まあ、大手「ミリコニティーサイトのモバーモードに

「無料で着うたをとれるサイトを教えてください」

とか、犯罪予告を堂々と載せる方もいますが、ログを警察を介

した場合は提出義務が発生しますので、愚かな力キヨリしか言えませんね。

ネットでも発言には責任を持ちましょう。

警察やら裁判所のログ提出を無視し続ける某サイトですら、犯罪予告とか、犯罪ライブすると、正義感に燃える方が個人でログ解析をしちゃい、個人情報をざぱっと流出されちゃう世の中です。

正直、ログ解析とか個人でも出来る昨今、ネットでも馬鹿な発言は控えましょうってことですね。

……また脱線している。

小説と何の関係があるんだか。

脱線の達人、ふじばんです。 よろしく。

そういうえば、海賊版で思い出しました。
お隣りの国で、面白い事件がありました。

私も世代で知らない人はいない（あ、私の歳ばれるかな？）あの有名なドラゴ ボールのオンラインゲームを作ったはいいけど、その著作者様にキャラクターの使用許可を得る事が出来ずに、頓挫しかけているところ、…………。

「ほん。

『めんなさい、脱線しちきました。』

元に戻します。

元々、何の話だつたつか……。

ファンファイクションですね。

いつのまにか著作がどうたらこうたらになつて海賊版についておりましたか。

まあ、ファンファイクションを取り扱う時は、細心の注意が必要です。

自分の作ったキャラクターが、他の人により汚されて（18禁にされるとか）それでお金を稼いでいるとか、恐らくどの著作者もいい顔しません。

まあ、例外もありますが。

むしろ、喜ぶ著作者も事実いました。

某漫画なんですが、その単行本の作者のおまけページにそれらしき事書いてあつたりしますし。

それならいいでしょう。ですが、一度でも著作に関して訴訟を行つた法人などの作品の使用は危険です。

日本の企業で最も急先鋒はコニミですね。

昔、この会社の恋愛シミュレーションゲームの同人に対して、訴訟を起こしました。

結果、ファンが一人離れ、また一人離れて、最後の続編に至つては赤字だそうです。

どうでもいいけど……。

いつも、脱線しそうですね。
気をつけます。

まあ、ファンファイクションというのは、書く人はその世界が好きなんですね。

無料の、利権も絡んでいない物は特に……。

今までこそ廃れが見えているネットゲーム、ラグ ロクオンラインなんかは、そういうファンサイトとか見てプレイした人が多く、次々と新規顧客を獲得できた話は有名ですし。

楽しいから書く訳で、いかに楽しいか伝わりやすいというわけです。

だからファンファイクションってバカに出来ないんですね。
確かに既存の設定や世界感です。

でも、それを昇華した作品が数多く生まれていくわけで（まあ、中にはハズレもありますがね）……。

まあ、何が言いたいかと言つと……。

世界感や設定は既存な分、だからこそ、物語を深く掘り進める事が出来るため、良作が生まれ易いというわけです。

汚い話、読者獲得しやすいですしね。

ファンファイクションを読みに来る読者層は、例外を除いてその作品のファンファイクションだから読みに来るわけです。

その話が面白ければ別の作品も読んでもらえるわけです。

まあ、そのぶん読者の意に沿わない話書いちやうと叩かれる危険もありますが。

(死にネタとか、死にネタとか、死にネタとか)

ファンファイクションなんかとか思つていてる方……。
騙されたと思って読んでみては如何でしょうか?
結構勉強になりますよ。

なにより、様々な感情によつて創作意欲が沸けばしめたもので
す。

自分もこんなのが書きたい!!

私はこの感情こそ、最も創作意欲が沸く感情であると共に私に
とつて創作の原点です。

パクリ多いに結構。

そもそも、どこまでがパクリとかいいますと……。

盗作と呼べるレベルでもないかぎり恥ずべき点はないんですね
うか?

うまい日本語を使えばいいものを模倣すりやいいんです。

陶芸とか、最初は模倣することから始まり、やがて自分色を作
るわけです。

それが小説の世界に当たるまでは言つんなら、小説とい
う世界はあつといつまに終焉しますね。

「ればかりは断言しますよ。

そもそも日本ですら、古事記だの、源氏物語だの、遙か昔から
創作とかやつてるわけですから、何かしら、優良な設定やらは太古

から出でているわけで。

設定が被つていてる程度、パクリとか言われたら、ほぼすべての作品がパクリになってしまっわけで……。

さすがに今回は、いつも以上に恐れも知らない事をグダグダ書いてしまいましたので、フルボツコくらいそうですがえてこのまま掲載します。

とりあえず、ヘタれた弁明をすると……。

ふじばん個人の主觀に基づく主張でありますので、これが絶対ではもちろんありません。

叩くのならマイルドに優しめにお願いします（オイ）

ふじさんの戯れ事 7 世界観はもつといひんな感じ？

更新遅れて申し訳ありません。

……と、まあ……。

b10 調な挨拶は置いときまして、こんな所で更新を遅れた理由を書き綴るのは、ある意味マナー違反なので、それは後書きで言い訳します。

んでは、早速、今回のテーマは……。

『世界観！』

ここで頭の中でズビシッという効果音が再生されたら幸いです。早速脱線はさて置いとして……。
話を戻します。

世界観と一口に言いましても、様々な背景があります。これの確定によって、物語の流れが決まってしまうと思います。例に上げやすいのは、ホラーですかね。

ホラーはそもそも、書き手が読み手の恐怖感を「覚える必要があるわけです。

「えられなければ、失敗です。

映画やゲームで恐怖感を「覚えるのはテキストがへボでも、演出次第でなんともなります。

恐怖感を助長させる小道具や大道具がありますからね。まずは、音楽（BGM）……。

緊迫のシーンで、明るい音楽を流すバカはいないでしょう。そして効果音（SE）……。

悲鳴や、馬鹿でかい音での演出……。

これで十分、視覚だけではなく聴覚をも使い恐怖感を助長させる小道具になるわけです。

さらに絵があります。読み手（と言つていいのかな？）の場合）に想像させる必要がなく、そのシーンを見せれば良いわけなのです。

絵といつ大道具があるわけです。

漫画とかでも、これは武器になります。

それでもつまらないホラー物の映画やゲーム、漫画があるのですが、それはただ単に演出のやり方が下手くそなだけですね。

さて、前置きはここまでにして……。

小説のような文章だけで、人に恐怖感を与えるなければならぬ場合……、何に対しても恐れてもらいたいかという事がキーパーソンになります。

心靈的恐怖（幽靈とか、祟りとか科学的ではないジャンル）。精神的恐怖（混乱とか、疑心暗鬼とか心の問題のジャンル）。人為的恐怖（グロ系とか、肉体的苦痛系とかのジャンル）……。ホラーだと、おそらくこの三つが主流かと……。どれを使って読み手を恐怖という感情に搦め捕るかは、書き手次第です。ただ、共通して言えるのは読み手に想像させなければならぬということです。

舞台は廃れた田舎の夏……。

……という説明文を用意されたとします。
どんな風景が想像されますか？

一面、見渡すばかりの田々々……。

背景には山で緑林。

遠くにはワラの屋根の家がある。

山の中腹にありそうな寒村。 家は、薦や苔がはえているのが印象的。 近くに流れる川には滝があり、なんとも言えない涼。

元は漁港として栄えていたが、乱獲、赤潮、公害、魚価の下落などの理由によって漁師を廃業して行く人々。 人口はどんどん減り、町から村に降格した場所。

本島より離れて浮かぶ離島……。 定期船は一ヶ月に一回。 週刊誌は月刊誌と同じ扱いとなり、定期船の来る日が発売日となり、4冊まとめ買い必須。 すでにアニメで見ている所が翌週になつてやつと漫画で見るような感じ……。

と、まあ……。 ボキヤ貧な私でさえ、これだけのパターンを連想できるわけです。

で、山中を想定して読み進めていたら、実は孤島でした……、とか一気に興ざめだつたりします。

絵がない以上、文章で見せるしかありません。

それを怠つた場合に読み手にされる反応の一端です。

では、逆に語り過ぎの場合です。

福岡県博多市郊外の寒村……。 博多市街まで車で40分。 村人は、博多織と博多人形の製作と、米作よつて生計を立てていた。 コシヒカリの水田は、青々と繁つており農家の会話が聞こえてくる。

「太郎ドンが東京土産でひよ子買つてきたタイ」

「バッテンひよ子うまかねえ」

…………書いててシッコミニ所満載になってしまったのはさておいて。

上記の文章は、博多に住む人間にはただ不快です。
私自身、出身が福岡なため、不快になります。

不快になる理由。

福岡県博多市なんてありません。

正確には福岡県福岡市博多区です。 漫画とか小説の描写で普通に博多市とかふざけた事書く筆者がいますが、中学の地理の授業で購入しているはずの地図帳引っ張り出して、九州のページを傾注しやがれ！ ……と、実際そこに住む読み手は思うわけです。

また、博多区は小さいため、車で40分も行った日には、博多どひじゆか、福岡市すらでしまつ危険があるわけで……。

つまりは、実際にある地名を使う場合は……、気をつけましょう。

よく知らないなら使わないに越したことはありません。

どうしても使うのなら、リサーチしてから、使いましょう。

不快になる理由、2。

「コシヒカリを作っている米作農家はいるにはいますが、福岡に限らず、他県でも当て嵌りますが県米というものがたり、普通そつちだと思います。

「コシヒカリは確かにポピュラーな種ですが、コシヒカリの米作で違和感を感じない県と言つたら私は新潟近郊しか思い付きません。 それも私の無知の偏見かも知れませんが。

ポピュラーだからといって調べてもいらない風土を安易に書かないほうがいいでしょう。

不快な理由3。

博多弁といえば、語尾につねにタイ？バツテンの用途知っています？

まあ、方言の用途ですね。

エセ方言は反感かいります。 書き手にとって、そんなつもりなくとも地元の人からはバカにされているように感じるものです。 博多は九州で知名度が高い地名ですし、東京駅からの新幹線終点だつたりする影響か、作中で脚光を浴びる事があります。 その時、エセ博多弁でしゃべる現地住民を博多っ子は内心冷ややかに見ます。

スポーツものとか特にありがちですね。 全国大会の福岡県代表のエセ博多弁。

これをプロ作家がやるんだから始末におえなかつたり。

まあ、使い慣れない方言は作中に使わないにこしたことはありません。

不快な理由4

ひよ子を博多の人間が東京土産と認知して、喜んで食べるという事です。

絶対ないんで、そんな事。

そもそもひよ子の発祥は福岡県の飯塚です。 福岡県民はたいてい福岡県発祥という事を知っています。 ですが、全国的に、ひよ子＝東京土産となっています。

まあ、ひよ子を作っている会社の戦略くさいですが……。

たぶん、福岡の人にひよ子を東京土産に持つていけばおもしろ

い反応がきつと帰つてきます。

諦めている人。

福岡のものだと主張する人。

とりあえず理由も言わずに怒る人。

私は諦めている人ですね。

東京本社工場とパッケージに書いてますから……。 ちょっと
とネットでググればわかる事なんですが……。

ひよ子程度、東京にくれてやるよ……って思つてます。

かといって、それは福岡県でやる態度ではなく、他の県でやる
態度です。

博多じやしません。

と、まあ……。
世界観の話がすさまじく博多の地理觀になつてしまつています
のでさておいて……。

実在地名を使う時は馴染みある地名で行つたほうがいいとい
たいだけです。 ……はい。 ストーリーうんぬんの前に、読
むのをやめてしまわれる危険があります。

閑話休題。

とりあえず、地理感は置いときまして……。

物語の舞台となる場所の説明、風土、歴史、時間軸などは読み
手の想像の助長になります。

が、長々と冒頭で全てを語るのはあまり感心できません。

世界観の説明だけを延々と長文で書かれても、読み手は読むの
に作業感を感じてしまうのです。

読み飛ばしどか、されます。

正直いいますと、興味がそこまで沸いていない物語の世界観なんか長々読む気になりません。

あらかた興味を持つてもらつてから子だしする書き方のほうが、読みやすいのではないかと思います。

かといって世界観の説明が書き手の脳内だけで留まつていて作中に全く出でこないのは不親切極まりないです。

梅塩に関しては、難しいのは承知していますし、正解なんかないでしょう。どうしても梅塩を計りたい場合は他の人の作品を読んでみてどれくらいの感覚で世界観説明をしていて、それを自分がうざく思つていなかどうか……、まず自分が体験するのが手取り早いです。

自分がうざいな……と思つことは、他人にとつてもうざい事かもしだせん。

これは自作では見えない事です。

作者自身が、世界観を1番把握しているわけですから、説明が足りなくても、語り過ぎても自分で違和感は気付きにくいものです。では、その梅塩の調整はどうすればいいでしょうか。

自分で計るのが難しいなら、自分の好きな作品の梅塩を参考にする。

これが一番楽ですね。

私の作品に提督立志伝なる駄作があります。

この作品は正直言つて世界観の構築こそは出来ているものの、あまり長々と語るのは好きではないという私の判断によつて世界観の挿入を短絡にしてしまい、結果失敗しました。

感想などで、どれくらいの科学水準? 個人が忍びを雇うのはとても不可能なのでは……どこ指摘を頂き、世界観の説明挿入を怠つた結果が如実に表れている失敗談です。

もちろん、説明出来るんですが、そのように読者様に物語中で伏線でもない部分の疑問にご指摘頂けるのは、私の世界観の説明文がなかつたことがそもそもの発端です。

実践出来ていらない奴にあーだこーだ言う資格はないかも知れませんが、逆に自分の失敗をこれを読んでくださった皆様の糧になってくれれば幸いと、恥を偲んで紹介させていただきました。

まあ、世界観説明文の梅塙は、いい作品を参考に……。

と、言いたいのです。

歴史物なら時代と舞台になる場所。

推理なら、事件発生現場と探偵、容疑者の**素性**。

恋愛ものなら、場所と、背景と、時代と、男女の**設定**と……。

ファンタジーもしくはSF等は……、あ～……。

うひやひやひやひや（泣）……。

こればっかりは、語りすぎて長文にならないよう^に。最低限の情報は、読者に伝える必要はありますね。

だが、しかし……。

全てを語る必要もありません。

この情報は読者にアツと言わせたいためにあえて伏せておいている世界観説明……、例えば主人公が認知していない情報は書く必要がありません。

というか、書かないでください。

つまり、主人公が知っている情報は書いてもいいといつわけです。

主人公が知らなきゃ、読者もすぐ知る必要がありません。

といつよりは、そこは書かないほうが読者を引き付ける餌になるわけで……。

「ホン……。

暴走してとんでもない事を書いていますが、あえてそこはスル

ーでお願いします。

まあ、とりあえずまだまだ語り足りませんが、だらだら長々と書いても飽きてつまんなくなるとわざわざ書いた手前、今回ほーの辺で……。

手遅れですか……。やつですか……。

今回もふじばんの独断と偏見にお付き合て頂きあつがといへりぞれいました。

ふじさんのお話 7 世界観はもつといんな感じ？（後書き）

本文中で言い訳していない、更新していない理由を暴露します
と……。

携帯の寿命が尽きかけていて長々執筆活動に耐えられなくなつ
ているためです。

なら、機種変しろ？
いやはや……。

高いんですね、機種料金……。

私の携帯がW51SH。

時代はもう、60台に入りました。

どうせ買うなら機種を安くしたいのですが、近場のショップは
新製品を出すだけでなかなか古い機種を置かない始末。

DOCOMOはいいですね。なんでも2年間の料金に機種
料上乗せの分割が可能で、その場合はタダという
アフターもしつかりしているとは……。

auも似たようなことをしていますがDOCOMOほどおいし
いことはしていないし……。

ナンバーポータビリイあるから次の年契ぎたら即ちつかな
……。

ふじぱんの戯れ事⁸ フイクシヨンでも読める時は読んでね（前書き）

あくまで本作は私こと、ふじぱんのただの戯れ事です。
絶対でもなければ正解でもありません。
それを笑って読める方のみ、お進み下さい。

ふじさんの戯れ事 8 フィクションでも訴える時は訴えりれます

「んばんわ、ふじさんで『』ります。 お久しぶりで『』ります。

最近の寒暖差はたまたものではありませんね。 暑くなつたのでこらもがえした途端、寒くなるとかいじめだと思います。 頭さんも体調管理には気をつけてください。

さて、前置きはこの編にして本田の話題に転換します。

今回のテーマは、言論の自由と、規制についてです。

そもそも、日本には言論という法律が存在します。 しかし自由とか言っておきながら、モラルや世間体のため書けない、もしくは書いてもいいけど、とりあえず叩かれるネタがあります。

現在のところ、ネット上で書くぶんには、何も規制はありません。 取り締まる、監視する機関がない……はずです。 あ……、ちなみに該当してそうで全く今回に関連していないネットポリス。 警視庁ハイテク犯罪対策総合センターの事ですね。

荒らされたらここが助けてくれると勘違いしている方が多くおられるようですが、相当な事でないかぎり動きません。

仮にも警察組織。 そんなわけないじゃないか、と思つていらしゃる方……。

よ~~~~~く、考えてみてください。

例えば、原付を盗難されたとしましき。 原形を留めていない状態で原付が帰ってきたとしましょう。

修理代を当然犯人に請求したくなるのは被害者的心情。

……が、犯人は初犯で指紋を取られた経験のない奴、または、痕跡を残すへマをしていないなどという状態で、犯人は特定できません。

口では捜す（被害届けを正式に提出しました。）とは言つていましたが、盗まれてはや5年の歳月がたつた現在……、一向に連絡無し。

そんなもんですよ、原付の窃盜ですらそんなザマです……。

軽犯罪ですから、こんなもんなんでしょうね。

そんなわけで、警視庁ハイテク犯罪対策総合センターは、警視庁の名前を冠しています。

そんな彼らが、掲示板を荒らされた程度で動くわけがありません。個人情報の漏洩、詐欺、犯罪予告とされる書き込みでもないかぎり動いてくれているのかも怪しいです。

ちなみに有料コンテンツを人のIDを使って入るとかいう行為は、不正アクセスという法律違反だから逮捕されるわけで……。

名誉毀損で動いてくれるのかなあ？ 個人情報が犯人に特定されて晒されたとかならともかく、自分で晒しといて（プロフィール欄とかで）誹謗中傷を受けたとか、つまらんから閉鎖しろとか、VIPからきますた程度じゃ、対応はしてはくれるとは思いますが、口の悪い相談員なら自業自得で終わらせそうですね。

規制の話が何故ネットポリスの話題になってしまったんだろう……。話を戻します。

とりあえず、個人、団体とか、自分の事じやないかと思われたら、ダメです。

いくらファイクションと銘うつても、激怒する人はいます。

とあるドラマで大物ペテン占い師とかいう役がいて、モデルとなつたと思われる大物占い師が激怒して、陳謝を求めたのは記憶に新しいですね。

まあ、日本人は民族性質上、裁判とか面倒臭いのでそこまでやつたりは滅多にしませんが、裁判になつたらまあ負けるでしょうね。筆者がそのつもりなくとも、本人がそうだと思い込まれてしまつたら、サイトの閉鎖、削除、謝罪に最悪賠償金沙汰と、ネット小說とはいえそこまでされるでしょう。

てなわけで、特定の団体・個人を連想して出来た設定でも、悪役とか、マイナスイメージとかの場合は気をつけましょう……。

どう、気をつけろと？

使うな、が一番ですが、そんなこといつちやなんの解決にもならんですね。

んでは、こういうのはどうでしょう。

外見、名前は勿論の事、性別まで変えてみます。

それでも怖いなら年齢をおもいつきりいじりましょう。

ただ注意してほしいのは、いじりまくつたはいいけど、なんか別の実在人物になつてしまつた、とかならないように。

団体の場合は、モデルとなつた団体の正式名称からとりあえず遠く離れた名称。

それでも警戒するならば、モデルの団体を徹底的に調べて、作品のイメージ的に変更しても良い所をいじつていじつていじりまく

りましょう。もう、痕跡も残らないくらい徹底的に。

「いや、貴方（貴社、貴団体）のイメージから全く遠く連想もつかないんですがそれでも誹謗中傷と？ 自意識過剰ですよ、いくらなんでも」

上の文はいいすぎです。絶対言わないよつて。ふじばんが言えと言つたとか言わないように。

そこまですればきっと大丈夫かもしませんね（自信なんかないですよ？ 人間の思考なんか十人十色の諺のとおりいろんな人がいますから）。

まあ、あくまで私の主張ですので絶対ではありません。今回特に…

さて、今回こそ投稿しちゃつて大丈夫でしょうかね。フルボッコ程度ですめばいいけど……。

ふじばんの戯れ事9　主人公像の考察

さて、過去にやるとかいつておきながら放置していたネタを消化……もとい、脚光を浴びせましょう。

今回の話題は、主人公の人物像です。

まあ、やつちゃいけない主人公に関しては、すでに語り足りないけれど語っています。

んでは、どんな主人公ならいいのかというやつを検証してみましょう。

まあ、ヒット作品を手に取つて見れば一目瞭然。　ここで語るまでもないかも知れません。

あえてあげるならこんな感じですかね。

1、 平々凡々。

スタートラインでは天才でもバカでもない一般人。　若干平均より劣っているでもこれに分類できますか。

このパターンは人より好奇心が大なり小なり大きいばかりに物語の事件に巻き込まれてしまつタイプなので、物語が進行しやすいです。

読者としては、自分をその身に委ねて物語を進行できます。

やがて人間性、柔軟な思考、ジャンルによつては戦闘力に人望などと、成長要素が期待できるキャラクターですね。

初期では内向的で自分の判断では到底動けなかつた娘が、話が

進行するうちに、勇気や度胸を兼ねて行き、しまいには思い人に告白出来るようになる。

初期では、強い奴の陰に隠れ、強敵に出会つたら逃げるような戦力外、もしくは雑魚もいいとこだつた人が、終盤でついにラスボスと対峙し致命的な一撃を与えたり、倒したりとか。

成長するというプロセスの楽しみというか、成長した後の結果というか……、なんとなくニコアンスはわかりますかね？

つまり、ゲームのRPG（対戦車歩兵砲ではありません）と一緒ですね。経験値を貯めてレベルアップ。

こんな作品は好きな人は好きです。

私も好きですね。

2、人が憧れる職業

刑事に探偵、軍人に忍者、海賊、騎士に王族にスペイにスポーツ選手にアイドル、売れっ子歌手に、高校生。

上げればきりがないですね。

称赞されて嫌な人はあんまりいないでしょう。また、やっている事が傍目かつこよい職業とかも自分が物語の主人公として疑似体験できますから、面白かったりします。

推理小説とかでもよくありますよね。探偵や刑事が、事件の痕跡を元に犯人、凶器、動機などを読者と一緒に推理していく。現実世界で体験できないことが題材ですから、読んでて楽しいです。

そこにほんのりと、現実を生きる人に共感を持たせる欠点。

日本人でいえば、きまじめで頑固だと、マイペースすぎるなど

が、興味あることは全力で取り組むけど興味ないことは全く興味を示さないとか、守銭奴とかを付加することで、いい味ができます。

社会問題でもいいですね。

離婚問題を抱える夫婦やら、結

婚したがらない若者世代とか。

3、才能型

これは、最近の風潮ですね。 勝利 = 友情 + 努力の計算式にさらにプラスアルファとして才能、もしくは遺伝とかも付加されています。

流行っている「こう」とは、きっと読者を引き付ける何かがあるのだと思います。

私は計りきれませんので「メント」は差し控えさせていただきます。 これの魅力はわかんないのでとりあえず沈黙を選択するところ「こう」とご勘弁を。

4、実在人物

創作のネタになるくらい魅力的な実在人物ですね。 その人の見るもの、聞くもの、考え、筆者独自の創作部位に対して、こんな反応をするだろうという見解と……。

もしくは、パラレルワールド。 I.Fの世界で、もし仮にこの人が死ななかつたら、とか……、この戦いの勝敗が逆転していたら……とかですね。 歴史的ロマンをひもとくようで、読んでいる読者も楽しくなります。

と、まあ……、まだまだいろんなタイプの主人公がいます。

ちなみに追記なのですが、よく一対複数の恋愛もの（私はこういう作品をハーレム小説と読んでます）には、優柔不斷のキャラ、

もくしば朴念仁と相場が決まっています。

たくさんの異性が主人公を取り合つという大前提があるため、主人公の性格設定はそうなりやすいです。

ただ、得てして同性読者からは嫌われますね。優柔不断すぎてイライラする、とか、なんでこの人を選ぶんだよ、とか……。

この手の主人公が読者に人格面を認められるつて、まずないかな……つと。

ハーレムである以上、滅多に読者から好かれるのは難しいです。この場合は、読者の支持は諦めた方が無難ですかね。

異性の主人公に対して恋心すらいだいていない人から見たらこんな主人公つて、極悪人もいいところです。

さらに悪く言つてしまえば、期待させるだけ期待させといて最終的にはお預けを喰らう。

リアルにこんなのがいたら私は軽蔑の対象です。 読者に嫌われる要因の一つですね。

この場合は、主人公に魅力付加は捨てて異性キャラに主人公に付加すべき魅力作りが必要です。 読む人はありたいてい、主人公なんてどうでもいいと思つている人は多いと思いますから。

あ……。 誤解されるまえに言つておきます。 ハーレム作品はおもしろいものはおもしろいです。 異性キャラに魅力ありますから。

私はこの場合、異性キャラを見に行つていると断言します。

とまあ、当たり前の事しか書けないので、取りあえず放置していたネタでしたが、この辺りで……。

主人公は、読者の分身が、世界の語りべ。

他にも役割はあるかもしれません、私程度の認識はこんなものです。相変わらず独断と偏見の域をでておりませんね……。

それでは、次回お会いしましょう。

ふじさんのがれ事9　主人公像の考察（後書き）

次回は、段落について検証を行いたいと思います。
まさかリクエストを貰えるとは、夢にも思つておりませんでし
たが、初リクエスト。
気合いをいれてがんばります。

ふじばんの戯言 10 段落

段落つて文頭のスペースのことですよね……。

さて、今回は段落についてまたまたふじばんが暴走氣味に独断と偏見のもと検証します。

中学時代から国語の成績は壊滅に等しい私の意見ですので、ボケた解答になつてしまつている可能性があります事を先にご了承くださいませ。

まず、そもそも私が文頭にスペースを入れてる理由は、自分が携帯で読書している時、小さなディスプレイに敷き詰められた文章を読むのが若干苦痛だつたからです。 ということは、同じ事を思っている人もいるんぢやないかと思い、その日から文頭にスペースを入れたわけですが……。

私自身もつい最近まで、段落を軽視していました。 ですのあまり偉そうに語れないので、現在の私のスタンスということでお願いします。

あるとないでは、やはり読み易さは歴然です。

とにかく例題を……。

ふじばんは、何気なく買ったロト6の結果を見るため、普段読みもしない新聞の朝刊をコンビニで購入した。給料前の前日で財布の中はスカスカだつたが、一縷の望みに賭けて……。

新聞の宝くじの欄を捜すふじばん……。普段、読まないため、捜すのに手間取っていた。経済欄に文化欄、スポーツ欄まで読む。やつと見つけた。ふじばんは口ト6を財布から取り出し、当選番号と比較する。

な、なんと！当選しているではないか……。6つも正解。しかもキャリーオーバーで2億円突破。やつた、これで会社に辞表をたたき付けて辞められる！これって夢じゃないよね？

夢でした。辛い現実は今日も繰り広げられる……。

PCで読むぶんにはそんなに違和感はないのですが、携帯で読むと、私はなんだか読みにくいです。人それぞれだと思いますが……。

例によって例の如く、修正して見ましょう。

ふじばんは、何気なく買った口ト6の結果を見るため、普段読みもしない新聞の朝刊をコンビニで購入した。給料前の前日で財布の中はスカスカだったが、一縷の望みに賭けて……。

新聞の宝くじの欄を捜すふじばん……。普段、読まないため、捜すのに手間取っていた。経済欄に文化欄、スポーツ欄まで読む。やつと見つけた。ふじばんは口ト6を財布から取り出し、「当選番号」と比較する。

な、なんと！当選しているではないか……。6つも正解。しかもキャリーオーバーで2億円突破。やつた、これで会社に辞表をたたき付けて辞められる！これって夢じゃないよね？

夢でした。辛い現実は今日も繰り広げられる……。

私は、PCを所有していないため、読む媒体は携帯です。
そんな私が上記の文章どちらが読みやすいかといいますと、段落を開けている方が読みやすいです。

これは、私が自分で書いてて気付いた事実ではありません。
人様の作品を読んでいて、なるほど、こっちの方が読みやすいな……、と気付いたので私は段落を文頭に入れようつ心掛けるようになりました次第です。

はつきりと言えるのは、正しい書き方というものはないです。
読者が不快感なく読めればそれでいいんではないかと。

では、どうすれば、不快感なく読めるかとこうことですが……。
極めて難しいですね。

そもそも、ある人にとっては読みやすいですし、ある人にとっては読みにくいく、どんな文体にしても起こりうる事です。

結論……。

自分が読みやすいと思える形が望ましい。
これしかないですね。

なんか、あんまり参考にもなりそうにない事を語つておりますね。
申し訳ないです。

書く踏ん切り

「んにちは、ふじばんでござります。」 気付けば長期連載停滞の警告が出ておりますので、かなりの日数をサボっていた計算になりますね……。

弁明はあとがきにでも記載させていただきます。

では、本日はやる気について独断偏見混じりに書かせていただきます。

創作に携わる以上、どうしてもモチベーションが上下します。

その日の天気だったり、良作を見た後だったり、恋人と別れ話をした後だったり……。

アマはまあ、筆休めしてまつたり時間を置いてモチベーションの回復に努めることができます。

しかしプロはそういうわけにはいかないのが現状です。

書かなければお金が入りませんしね。

と、アマの逃げ文句を書いたところで状況は変わりません。ネット小説とはいえ書いて作品を発表し、一人でも読者がいる以上どんなに時間がかかるても、どんなに周期が開いても書かなければ読んで頂いている読者に失礼です。

しかし、モチベーションばかりはどうしても個人でコントロール出来ませんので先人の知恵を借りましょう。

まず自信がなくて書けない人に次の台詞を送ります。

「我々はわけのわからないまま書き始めます。 そして
精一杯、書けるものを書きつくすのです。 我々は疑わしい
事に情熱を燃やせるし、情熱を燃やすことが我々の仕事なのです。
それ以外は芸術の狂氣です」

ヘンリー・ジェイムス

自信満々に完璧ともいえる著作なんてありません。

どうせ私なんかの作品は貶されて消えていくのがオチだ……。
…、なんて思つて書くのをためらつていてる方……。

気持ちはよくわかります。 私も常に同じ事を思い
ながら、投稿のボタンを押すのには躊躇しています。

こんな事書いていますが常にフルボツコされるだろうなあ、
とか思いながらも書いています。

ただ書いて発表しなきゃフルボツコされませんし、永久に
頭の中から出できません。

いきなり名作を残せるライターなんかめったにいませんし、
書いて批判をもらわない事にはいつまでたっても成長出来ません。

最初は、批判上等！

宜しく、くらいの気持ちでポンと書いて、客観的な意見を聞いてみては如何でしょうか？

幸いにもこのサイトには、評価依頼を請け負つてくれる人らもいます……。

まとめます。

書かなければ何も始まりません。

はつき

り言えることは、書いて書いて書いた分、作品の味が増していきます。
逆に言えば書かなければ何も変化しません。

と、まあ……、また偉そうな事書いていますがあくまでふじぽんの独断偏見の主張でした。

次回はスランプあたりに注目します。

書く踏ん切り（後書き）

以下は更新しなかつた言い訳になります（汗

前使用していた携帯が天に……いえ風呂場の水に「コボコボコボ……」
と。

諦めて新しい携帯買いました。

そして……つかいにくく！

句点はどこにだ、なんだこの打ちにくさは、改行どこにだ、そもそも私のHDDとパスワードなんだつたつつけ？

……そういうわけでした汗

漢字って難しい

かつて誤字の脅威である程度語ったのですが、今回は漢字についてある程度の解釈をしてみようかと……。

やはり、漢字に関しては難しい字を好んで使用している猛者もいらっしゃいますが、読めない人は読めません。

また、意味は分かるもののなんと読むか分からない字とかも、何気に読み手からしたらストレスになるものです。

それでもルビをふればいいではないかと、ルビをせりつとふつていただいている御方もいらっしゃいますが、そのルビが誤字なのか思い込んでいてミスっているのか分からない時もあります。

そこで改めて漢字について検証してみると……という流れになつた次第です。

まず、同字だけど意味の異なる例……。

レベル1 「変化」

この字は簡単ですね。 一個目の読み方は「へんか」。

意味は変わること。 もう一つの読み方は「へんげ」。 意味は形が変わつて他のものになつて現れること。

この辺りは前後の文章でどっちかはわかりやすいので問題ないですね。

んでは続きましてレベル2 「上手、下手」

一方の読み方の「じょうず、へた」は誰でも読めますし、今更

「」の場で例文をだすまでもないですね。

もう一方は「かみて、しもて」

地名とかいうオチではありません。まあ、地名にも使われておりますが、あえてこの場は置いておきます。

意味は上手は舞台で観客席から右の事をいい、下手は左を指します。使う際はルビがないとキツいかもしませんね。

レベル3「好事」

読み方は「こうじ」の方が有名ですかね。意味はよいこと、めでたいこと。

例文としては、好事魔多しなどが有名かと。

もう一方は「こうす」

意味はもの好きとか、風流とかですね。もの好きの事を好事家ともいいますね。

まあ私は国文学者や国語教師のように専門家ではありませんので初歩中の初歩しか紹介していませんがまだまだ同字で異なる意味を持つ字は大量にあります。

ルビをふる際はお気をつけくださいませ。

さて、他のパターン、似すぎている漢字を紹介します……。

「萩」と「荻」とか典型的な例ですね。両方とも植物な上に、萩本さん、荻本さんと名字でも使いますし「山口県萩市」や「荻窪」といったように地名でも使えます。

作中の登場人物に上記の名前を使用した場合、ついつい馴染み深い読みで読んでしまう場合があります。

ちなみに私は福岡出身で萩の方があつた方が馴染み深く、荻窪を「はぎくぼ」と読んで恥をかいことがあります（汗）。

まあ、続けます。

「治」と「治」……。並べてみても一見同じ字しか見えないのは私だけではないはず（……たぶん）。

治癒や治水や政治、自治などといひはぱピコワーですね。

んで、冶金、陶冶、鍛冶と……。チキン、トウジ、タンジではあります（汗）。

他にも、「歸」と「帥」だの、「嬌」と「矯」だの、「戌」と「戌」だと多々読み手を惑わす字があるんだから日本語つて難しいですね。

次のパターンは、読み方が一緒に厄介な字。

「こいつは漢字に限らずひらがなにもありますね。「す」と「づ」だの、「じ」と「ぢ」だの……。ですがこそ「お」と「を」を間違う人はいないでしょう。

結構見かける誤字といえばやつぱり「一個づつ」の「づつ」。正確には「ずつ」でござります。漢字の変換の際に大抵は気付きますがずつは漢字は無い（……ですよね？）のでそのまま思い込んでいる方もいらっしゃいます。

千羽鶴の鶴とかはつるなので「つ」に濁点。鼻血の血はちなので「ぢ」に濁点といったようにある程度はいつやって予測できるんですけど。

ただ地震や地雷の「地」はしに濁点なんですね。なんだ、こりや？

携帯の変換で「し」で変換しても「地」の字は出ません……。

日本語つて難しいですね（汗）

なんとなくグダグダですが今回まじの辺りで

名前についてうだうだと

携帯投稿の悲劇とでも言いましょうか……。

一時間かけて書いていた序文がさ行入力の際、パワー ボタン連打で全てが消滅し凹みの境地を味わっているふじばんです。こんなにちわ……。

懲りずにカタカタ入力しているのはただたんに諦めが悪いわけではなく、ヤケです。

みなさん、このような泣くに泣けない失敗をするまえにこまめに保存しましょう……。

本日の話題は保存に関してのつまらはありませんので念の為……。

いや、重要ですけどね、保存……。

おし、未練はこじまでにして……、…………はあ……。

了解、忘れます。

本日の話題は、キャラクターのネーミングについてです。

ノリノリで書いてて、パワー ボタン連打は危険です。

ここまででとりあえず保存、保存……。

まず主人公のネーミングについて独断偏見、ぶつちぎりで語つてみます。

まずは和名のネーミングの注意点といいますか、ちょっと読者寄りの意見といいますか……。

所詮はふじばんの独断偏見ですので該当しちゃってる方は気を悪くせずにお読み下さい。

まずは複雑難解な当て字による名前ですね。

読もうと思つたら確かにそう読めない事はないけど、漢字しか

表示されていない状態で果たして何人の方が正確に読むことができ
るかという当て字名前ですね。

いや、意外と多かつたりするんですね、そんな名前の主人公。
確かに字はかつこいいです。
しかし……。

この場合、一見の読者は名前が読めなくて読むのをやめてしま
う人もいます。（いや、私の事ですけどね）

主人公はもはやその作品の顔といって差し支えないです。

そんな主人公の名前が読めなかつたら、読むのを止めてしまい
ませんか？

私の作品に、提督立志伝なる作品がありますが、主人公にリーグ
という男がいます。

この男の名前を漢字の当て字にして物語を始めてみましょう。

利一逗リーズは言つた。

「ふじぱんのバカめ……。」 た行入力失敗して全て消してやんの「

利一逗は鼻で笑つてふじぱんを嘲笑つていた。 利一逗は……。

なんか書いて悲しくなってきたのでこのへんで……。

まあ、例文が短めなんで読めないことないですが、この調子で
2話、3話と続いて行くと不思議と読めないんですよね、これが……。

一見の読者様はさわり程度でしか読んでくれないだろうですか
ら、利一逗利一逗利一逗とか、まあ読み方をわざわざ暗記してくれ
るものとは思わない方がいいんではないかと……。

確かに主人公の名前ですから読者が印象に残るインパクトな名
前にするのもテクニックですが、これはやりすぎな例ですね。

たてお次はま逆のパターンです。

まあ、極端な例になっちゃうんですが登場人物がイチロージローサブローシロー、ゴロー、クローヒチロー、ハチローとか似通つていふ名前がいる中で主人公をロクローあたりにしましょう。

誰がどれやねん……。

きっとこれが読者の素直な感想かと……。

まあ、ハ卵性ハ子とかいうおそまつくもびっくりの設定ならともかく、これがクラスメートやら同僚やらなら読者の混乱助長にしかなりません。

いくら性格に差異をつけても、一見の読者様には区別といつのが難しくなっちゃいます。

とか、戦記モノ書いてる奴が言つてもきっと説得力ありませんが……。

さて次にじゅげむじゅげむみたいに無駄に長い名前……。

まあ、言つてしまえば個性ですが、特に意味もなく長い名前は読者的に覚えるのは面倒かと……。

かといつてもセカンドネーム、サードネームを足して長い名前となるんなら別に良いんですが普段作中に使う名前で長い名前はやはり感心しないですね。

外国では長い名前は略称で呼ぶ習慣（ああ、別に外国だけじゃないですね、日本でも普通に使つか）ありますが、例を上げるならばクリストファーさん。

クリスとか略称で呼ばれますね。

長すぎる場合は略称を使つたほうがいいのかも知れません。

あと、大事なのは名前を適当につけないこと……。

悲しい話、自分で今までに痛感しております。

私のハンドルネームはふじぱんです。

ふじぱんの前は不治飯本時込でした。

ハンドルネームの由来は実に単純。

目の前にフジパン社の食パン、フジパン本仕込みがあつたから

そして氣付いたらこんな主張など書いており、そのタイトルが

。。

「ふじぱんの独断と偏見による……」

「ふじぱんの……」

「ふじぱん」

もはや後戻り不能です……。

行くどこまで行くしかありません。

ハンドルネームを考えていた頃の私に耳をかっぽじって言いたい……。

「やつたあ、考えて名前つけれ！」

まあ、脱線はここまでにして、連載小説のメインキャラクターとかには後で後悔するような名前はつけないことですね。

私みたいな末路を辿りますよ……。

ちなみに私、しつと藤飯とかにハンドルネームを変えようと無駄な抵抗を企画しているのは内緒です。

あ……。

また脱線した。

ちょっと臭い事をのた打ちまわるなら、名前をつけるのは作者にとつて作品を作るに当たつて魂の部分を挿入する大事な部分になります。

ちゃらけて名前をつけたらちゃらけた作品になりますし、何気重要な作業です。

さて、今日はこのあたりで

名前についてうだうだと（後書き）

この作品はただのふじさんとかいう輩のたわいとです。
絶対ではありませんのでただの一意見としてお聞きください…
…。

と、書いておかないと安心できなにやはりフルボッコは怖いと
痛感するふじさんでござりました。
ただのへタレです（笑）

ふじばんの戯れ言11 一人称視点は読者を獲得しやすい気がする（前書き）

あくまで私の主觀による意見なんでこんな意見もあるんだと笑つてすましてくれる方のみお読みいただければと。

ふじばんの戯れ言11 一人称視点は読者を獲得しやすい気がする

お久しぶりで「やせーい

最後の更新は、2年以上前つてさすがに当時読んでくれていた読者様はいないでしょうね。

と、いうか私自身、最近感想もらつまでこんな書いてたの忘れていたなあつと、物書きとして最低な感想をもらしていたりします。

こんな書いていたと気付いてしまった以上、これ以上放置はできませんので、ひっさしごりに書いてみます。

今回のお題は、そうですね……。

このなろうのサイトの作品や外部サイトでいろんな作者様の作品を見て感じたことを皆様と私の独断偏見を共有しようかなっと、思います。

所見から読みやすい小説つて、私の主觀全開となるんですが、

一人称形式の作品はおもしろいのが多い。

いや、ほんとに私自身が様々な作品を読んでリアルに感じたことです。

私がこの二年くらいこのなろうのサイトや外部サイトでネット小説を読んで何度も読み返した作品全てが見事に一人称視点ばかりといつ。

たぶん私の趣味が一人称作品なのかな?と思つたら、なろうの公式ランキングの上位がほぼ一人称作品という事実。

まあ、一人称の利点は主人公目線つてことなので、そのぶん読み手は物語の中に入りやすいということですね。

一人称の欠点と言えば視点移動が難しい、さりげない伏線を張るのが難しい、同じ視点ばかりだと別の場所で進行しているイベントが書きにくいくらいあります。うまい人は一話はA君視点、二話はBさん視点という感じでこの問題を爽快に回避しているソフトモノもいます。

まあその場合、物語中の一日が終わるのは数話にわたってしまい、なつかなか日にちが進まないというデメリットもありますが。

まあ、あくまで私がそう感じたことを勝手気ままに書いているだけで三人称視点はダメだといつてるわけではありません。
逆に三人称でないときついジャンルもありますよね。
例えば推理もんとか。

主人公こと探偵役が容疑者集めてトリックなどを解明している際、探偵視点で物語が進む際……。

いや、ありだな、と思つてしまつたので別のジャンルで。
例えばスポーツものとかでバッターボックスに立つ主人公こと打者。

野球で例えたのは私がルールをある程度把握してるとスポーツが唯一野球なだけで他意はありません。

やつはストレートで勝負を決めてくるはずだ、ならストレートで

山張つたる！！

つて、あれ？ これも別に一人称だとダメとか思わない……。

戦記ものとか、つて私自身が普通に一人称視点の戦記書いてましたね。

ん～？

あ……、ありました、ありました。

囲碁、将棋、麻雀とかを代表する知略系の対戦もの。

これ、プレイヤー視点だと自分がわの戦略が相手に仕掛ける前にばらしてしまいかねないのでこれは三人称視点でないと……観戦している人視点で解決とか思つてしまつたのは内緒です。

…………。

恋愛もので一人称視点は感情移入しやすいですね。

コメディも別に書き方次第で一人称でもおもしろいし、ファンタクション、ファンタジー、SFも一人称視点おもしろいの多いし、＼＼＼＼＼あれあれ？

一人称視点でないとダメってジャンル、なかつたりするかも。

まあ、結論というかまとめますと、私ことふじばんは一人称視点の方が好きだということです。

や、三人称視点作品もいい作品はいいと思いますよ。

ただ三人称視点つて私的には遠くから傍観しているつて感がぬぐえないといいますか、作品に入り込むための入り口が見つけにくいというか……。

やつぱり結論から、人それぞれ好みですね。

これはあくまで私ふじばんの独断と偏見です。

というか私はにわかなもので一人称小説の方が作品に入りやすい

つてことで三人称視点がダメだといつてるわけではありません（これ重要）。

……とか物語のキャラでなく、作者様視点も一人称になるのかな
……。

そういうた作風もわりかし好みなんですが、これは三人称視点に
分類されたりするんすかね？

基本的に私は硬い文章がただ苦手なんで、砕けた文体が好きなんだ
けという結論。

うん、書き方の参考にすらなつてないですね、今回は。
ただの私の感想なだけでした。

……こんなの投稿して大丈夫かな。

ふじさんの戯れ言12 キャラクター紹介って必要?

“どうも、どうも、ふじさんです。

まあ、今日も恥知らずにものたうち回るため参上しました。
さて、テーマですが、キャラクター紹介は必要か否かを思つま
書いてみます。

私の意見としては、あつてもなくとも、つて感じです。
ただし以下の点においては不要かな、つと思します。

登場もしていない時点での紹介。

歴史の教科書に書いていそな堅苦しい文体での紹介。

一番最初の、登場もしていない時点でのキャラクター紹介。

前書きとかに隨時更新しています、とか書かれてもふじさん
のよつなただの軽い読者にはそれだけ読んでその作品どつか行きます。

その文章が説明書みたいな固い文章で書かれていたらなおさらです。

そんなところにキャラクター紹介書いてもメリットがまず私は見
出だせないです。

まだ読んでもない作品のキャラクター紹介を真剣に読むなんて人
はたぶんいるでしょうけど、私は全スルーします。

ネタバレ書いてる人もいますし、登場もしていないキャラクター
に愛着なんかあるわけありません。

なんか最近いろんな作品読んでもたら冒頭にキャラクター紹介を
書いてる作者様いっぱいいるんですが、流行っているんですかね?

もしそうならふじばん的には完全に残念な流行だと思つのですよ。

だつて、私なら感想依頼な作品でもない限り、別の作品探します。ただたまに読者の目を引き付けるだけのインパクトあるキャラクター紹介を見ることはあります。

それはたまたま今回、感想依頼頂いた作者様にいたのですが、キャラクター紹介で見事読者（ふじばんという読者）を釣つてます。ちなみにお気に入り作者登録迷わずしましたよ、はい。

まあ、さすがに無許可で作者名、作品名晒すわけいかないので書きませんが、もしふじばんを釣つたキャラクター紹介を見たければ私の公開しているお気に入り作者様を探してみてください。

（現時点では一人しかいませんし）

人の作品を読むことでデメリットになることはありませんし、どうか、書くのを行き詰まつたらまずは人の作品を見るとかなり勉強になります。

私が未熟なだけかもしませんが、純粹に読者の立場として客観的にこういう書き方はおもしろいな、萎えるな、とか思うんですけどここは盗んで、悪いことはしない、ってやってたらおのずと書く力は上がると思います。

まあ、ここまで書いたらんでぶっちゃげますけど私が感想依頼受け付けたりするのもしつと勉強するためだつたりします。で、思ったことを勉強させてもらつたお礼に指摘させていただいたりしてるんですね。

今回のネタ、登場キャラクター紹介も評価依頼受けた作品のなかに、ふむうつ、もつたひないなつて作品があつたから書いてるようなもんですし。

もし感想依頼じゃなく、ただなんとなく検索かなんかで来てたら中身読まずに回れ右して違う作品についてるのもありましたしね。

さて、まとめましょう。

まず、キャラクター紹介書くな、とは言いません。

冒頭に書いても読まない人は読まないじうかそこで曲がれ右するひともいます。

書くならある程度話が進んだ閑話休題の箇所が理想ですかね。

そこなら、ふんふんと読みます。

ああ、こういう話だつたね、このキャラクターと、読者も受け入れやすいのではないかと。

まあ、まだ書いてもないこれから出でくる設定を書いてるとおいおいと思いませんが。

もう書くタイミング失せかけたよ、いいじうで書いちやえ、ってやつなりいいですけどね。

以上、今日も好き勝手語り散らして反論がこわいな、つと思ひながら逃げ支度をしているふじぱんでした。

呴くなら優しくお願いします。

ふじさんの戯れ言1-3 プロとアマ

この度、震災された方には心よりお悔やみ申し上げます。
私自身も、社用で現地に行かされ、それに伴う混乱の影響でしばらく更新出来ませんでした。

更新遅れまして申し訳ないです。

さて、更新遅れた言い訳はこのあたりにしておいて……。
ひそしごりに戯れ言を切々と書いていきます。

本日のお題は、プロとアマについて。

私自身は小説のプロではないのでプロになるためのプロセスではないのでご容赦を。

さて、これを読んでくれている人にプロを志望している人がいるかどうか知りませんが、もしなりたいと思つてるかたには辛い言い方になります。

ですので、その辺はお覚悟を。

私は職種柄、何人かのプロのライターさんと交渉したりする機会があるんで、何度かお話をさせてもらったことがあるんですが、その経験則をちょこつとこに乗っけさせていただきます。

まあ、結論からいいますと、売れるライターにならないと儲かりません。

うちの会社がライターさんに払つててある金額はこの場で公表した

ら情報漏洩の観点からとんでもないことになりますんで、書けません。

書きません、じゃなく、書けません。

重要なので一回言いました。

趣味で人生破滅とか洒落にならんのでその辺は「」容赦を。

あくまでふじさんは、趣味でネット小説を書きつつ、無料な良作を読み漁る趣味な立場なので特定されて痛い想いはしたくないので細かい数字をだせないので説得力にかけますが。

強いていうなら、あんな金額じゃ生活できないうから、なにか副業もってんだろうかな、ってどこまでで。

本とか出せば、印税とか、一部売れるにつきこくらのマージンがあるでしょうから、紙面にすればまた変わってくるかもしれませんので、そつちはそつちの経験がある方がどこかで書いていると 思います。

私は縁も知識もないのにこの辺は省略します。

結論、プロでも売れなきゃ儲かりません。

じゃあ、売れるライターになるためにどうすればいいですか、となるとおもうのですが、ぶっちゃげますと1にネームバリュー、2にコネです。

実力や才能なんて二の次です。
コネに勝る武器はありません。

「コネ！」？ と思われた方。

コネをバカにしてはいけないですよ？

どの業界でもコネは強力な武器です。

現に私の会社では委託するライターさんも公募で募るなんて不効

率なことは一切していない会社です。

稀に持ち込む人いますけど、はつきり言います。
読む暇ありません。

私も飯を食べる以上、飯を確実に食べるためにやらなきゃなん
ん仕事もあるわけで、ライター発掘に割ける時間などたがが知れて
います。

会社の存続に関わる以上、自薦のみの見ず知らずの人の作品なん
て危ない橋は渡れません。

結局、どこからライターを発掘していくかとなると、会社が信用
している人の紹介となります。

余談ですがここだけの話、私も上司から「ライター発掘を命じられ
た事があり、一度だけなろうの作者様から見つけてみようつて思つ
たことはあるんですが、すぐ挫折しました。

圧倒的に時間が無すぎるためです。

私に与えられた時間は1週間。

通常業務をこなしつつ、発掘とかいくら通勤帰宅の計2時間、電
車の中でなるうに出入りしている私でも発掘できる気概もさうあり
ませんでしたし、仮に発掘できたとしても、どこに住んでる人かも
わからない人相手に交渉とかどれだけ難色かつてこと……。

あと、このサイト、めんどくさい規約あるんですね。

交渉する前に運営に連絡。

運営が受領後、作者に連絡。

詐欺の可能性もありますので「注意ください」の一文をいれるつと。
期日がある以上、間に運営が入られると確定で間に合いません。
結局、別ツテ使いました。

さて、脱線はここまでにしておいて。

コネの優位性は理解してもらえたでしょうか？

ここまで読んで、コネの無い私はどうすればいいんだ？ と思わ
れている方。

落胆する前に動きましょう。

宣伝しまくりましょう。

ガンガン人に見せましょう。

前述で実力、才能は一の次と書きはしましたが、コネを得るためには必要なものです。

いつか出版社の人があなたに見てくれるかも知れない、は奇跡の確率です。

前述の通り、私のように発掘に来る人もいますが、私の場合、20作も見れませんでしたし。

さて、今日はここまで。

今回はやっぱそうな空気が流れたら削除しますのであしからず。

ふじょとの戯れ言ー3 プロヒアマ（後書き）

ちなみに、今、私は発掘する役職に「ませんの」で、自薦とかされても向もできませんのでその辺は、「理解を。

修正歴

2011年5月5日 誤字修正と本文修正

ふじばんの戯れ言14 批判

昨日のP.V、ゴニークがいきなりはねあがり、何事だ？

まさか、どこかに晒されたのか？ と、GoogleやYahooで検索をしたふじばんで御座います。

冷静に考えたら、私が応援している方のユーザーページで作品名だしていましたね。 それが原因か……。

しかも職種までカミングアウトしてましたね。

もうばれたなら仕方がない。 私はゲームを製作している会社に勤める一介のIT土方です。

そもそも小説の書き出し事態、自分の思う通りに作品を作りたかった。

それからこのサイトで書くようになりました。

どこの会社の誰だというのは勘弁してください。

普通にWikipediaとかで本名晒されていますし、全く特定されてしまっていますので。

今現在、在職中ですし、なによりこの独断と偏見で黒に近いグレーゾーンなこと書いてますので。

会社にばれたらクビ飛ぶくらいじゃすまなくなるので、特定は勘弁を。

億単位の賠償金とか払いたくありません。

前置きはこの辺に置いておいて、さっそく本題に参ります。

本日のお題は、読者数が増えるに当たってに關して。

ネットは私たちのような一般人見地からはどうしても匿名色が強いです。

私自身、匿名だからこそネットで小説を書いているようなもので

す。

私の会社の同僚や、友人、恋人、家族すら私がネットで小説を書き散らしていることは知らないはずです。……たぶん。

こんな独断と偏見で携帯小説をうんぬんかんぬん書いてる身でこんなこと書くのもどうかと思いますが、私程度の文才では身内にネット小説書いてるんだ、見てくれよと言えるだけの技量と自信を持ち合わせていませんので公表していません。 いえ、言えません。

脱線はさておき、書いてる作品に読者がつくというのは書き手として嬉しいことです。

それが100人、200人ともなれば狂喜乱舞ものです。

ただ、前述した通り、ネットはどうしても匿名色が強いです。その匿名色を盾にしてやりたい放題、言いたい放題散らかしていく人も出没します。

総称して荒らしとか呼ばれている人たちです。

やつてる本人に自覚はないんでしょうが、それで作者のやる気を叩き折り、作品 자체を削除してしまった作者様もいます。

私もこのサイトに登録して早3年。

更新を楽しみにしていた作品が荒らしによつて削除になつたりして、荒らしによく憤慨したものです。

ただ私自身、評価依頼とか稀に請け負つておりますので同じ穴のムジナかもしだせませんが……。

私は一応辛口評価していいんですね?と確認とつて辛口していますが、やつてることはやっぱり作者様の書く気を奪つているのでしょうか。

私がコメントを入れた作品が後日気づいたら削除されているということもかなりあります。

そういうた経緯もあり、最近は評価依頼受け付けていないのですが。

と、また脱線。

幸いにも私ふじぱんの駄作には、いまだ書く気が削がれるような「メントが書かれたことありませんので、（こんな場末を荒らしても意味ないからでしようが）体験談を書くことは出来ません。

私なら来たら喜ぶ可能性高いです。

なぜなら、批判的意見が来るところはそれだけ注目度が高いという証明ですから。

批判を吹っ掛けてくる以上、読んでくれているって事ですし、意図はどうであれ、真剣に向き合ってくれてる、と私なら思います。

ただこのサイト、完全に購読無料なんですね。

サイト運営している方は広告収入とか利益を得ていますが、基本的にこのサイトの顔である小説を書いている作者様には一銭の還元もありません。

汚い話ですが、書く原動力は金ではありませんので、作者様によつては批判は鋭い刃物となり、書く原動力、書きたい気持ちを破壊してしまう恐れもあります。

私のように批判されて当然なレベルと自分で自分の作品を解釈している作者様は批判こそ糧ですが、自作に自信のある方には核兵器にもなりかねません。

かつて、巨人軍の王選手と長嶋選手の育て方は異なっていたそうです。

長嶋にはとことん讃めろ、王には叩き潰すかのように叱ると。

結果、王選手は記録に残り、長嶋選手は記憶に残るプレイヤーになつたのは周知の事実です。

人間、確かに褒められて延びる人と、叱られて延びる人がいます。それはあくまで面識ある間柄だからこそ線引き出来ますが、ネット上では本当に赤の他人です。

線引きなんか自己申告に頼るしかありません。

さて、結局私が何を言いたいかといふと、批判する側にはその作品を殺すことがある、ということ、批判される側には批判してくれる人こそその作品をしっかり読んでくれていると言つことです。

まあ、読まずに批判とかするやつはいますがそれはただの荒らしです。

そういうやつは検討違いないこと書いてますので、それは純粋にスルーでいいかと。

なんか偉そうな事書きなぐつてしましましたな。
まあ、あくまでふじさんの主張です。

ちなみに私は批判ウエルカム派です。

でなきやこんなもん書きません。

人並みに凹むとは思いますが、作品削除はある条件を除きしません。

条件？

私が特定されかけることです。

それは純粋に特定されかけているから逃げただけと後解釈頂ければ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4599d/>

ふじばんが独断と偏見で語る携帯小説の書き方

2011年6月25日18時54分発行